

10/9
土

日本養護教諭教育学会 第12回学術集会

13:00~17:00

10/10
日

(熊本大会)

9:00~12:00 14:00~16:30

特別講演会

「養護教諭のヒューマンスキルと
学校組織の活性化」

吉田道雄(熊本大学)

「ユニバーサルデザインと教育」

潮谷義子(熊本県知事)

シンポジウム

「養護教諭の専門性の新たな追求と発信」

- 会場/熊本県民交流館パレア
- 対象/一般
- 参加費/4,000円

お問い合わせ

熊本大学教育学部養護教諭養成課程
松田芳子
E-mail matsuda@educ.kumamoto-u.ac.jp
TEL 096-342-2934

11/6
土

日本機械学会第12回機械材料・ 材料加工技術講演会

無料

11/7
日

●会場/熊本大学工学部

お問い合わせ

熊本大学工学部知能生産工学科
里中
E-mail satonaka@mech.kumamoto-u.ac.jp
TEL 096-342-3786

11/22
月

水環境汚染物質の 動態評価研究

13:00~17:00

無料

- 会場/熊本大学大教センターC-301教室
(予備:理学部321教室)
- 特別講演/13:00~15:00
松井三郎氏(京都大学大学院地球環境学堂)
井口泰泉氏(岡崎統合バイオセンター)
- 一般講演/15:15~17:00

11/1
月

セクハラ防止啓発シンポジウム

14:00~

「キャンパスの中心で、セクハラ撲滅をさげふ」

無料

みんなで、考えてみましょう。
セクハラのない、熊大にするには、どうすればいい?

著名な弁護士さんや
有識者をパネリストに
招いています。

パネリスト
辻本 育子氏(弁護士)
小野 和子氏
(元京都大学教授)ほか

みなさまの参加をお待ちしています。

- 会場/熊本大学文・法学部棟A1教室
- 熊粹祭協賛 熊本大学セクシャル・ハラスメント防止委員会

入試情報

(平成16年10月1日現在)

■大学院入試日程■

選 抜 区 分	願書受付期間	試 験 日
文学研究科(修士課程) 社会人特別選抜を含む (第2期・春季日程)	17/1/17 月21(金)	17/2/14 月 15(火)
法学研究科(修士課程) 社会人特別選抜及び 外国人留学生特別選抜を含む(第2期)	17年 1月中旬	17年 2月中旬
医学教育部(修士課程)《春季日程》	17年 1月上旬	17年1月下旬
医学教育部(博士課程) 社会人特別選抜を含む《春季日程》	17年1月上旬	17年2月中旬
薬学教育部(博士後期課程) 社会人特別選抜を含む 社会文化科学研究科(博士課程) 社会人特別選抜及び 外国人留学生特別選抜を含む《春季日程》	17年 1月下旬	3月上旬
自然科学研究科(博士前期課程) 社会人特別選抜及び 外国人留学生特別選抜を含む《春季日程》	17/1/18 火24(月)	17/3/1 火
自然科学研究科(博士前期課程) 外国人留学生特別選抜	17年 2月上旬	17年 2月下旬
自然科学研究科(博士前期課程) 学部3年次を対象とする選抜	17年 2月下旬	17年 3月上旬

■編入学・専攻科・別科入試日程■

選 抜 区 分	願書受付期間	試 験 日
特殊教育特別専攻科	17年2月上旬	17年 3月上旬
養護教諭特別別科	16年12月上旬	17年1月中旬
医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻	16/12/6 月12/10 (金)17/1/7 (金)	

※予定が変更されることもあります。
ホームページ等でご確認下さい。

お問い合わせ

熊本大学学務部入試課 〒860-8555 熊本市黒髪2丁目40番1号
TEL 096-342-2146 FAX 096-345-1954 E-mail nyushi@jimu.kumamoto-u.ac.jp
熊本大学ホームページ <http://www.kumamoto-u.ac.jp/univ-j.html>

10/30 ~ 11/1
土 月

熊粹祭・本九祭

ユウスイサイ ホンキュウサイ

黒髪北・南キャンパス、
医学部キャンパス、
薬学部キャンパスで
それぞれイベント
盛りだくさん。

模擬店

展示シンポジウム

Zoological Science Award (日本動物学会論文賞)を受賞

受賞論文名

Biology of the amphioxus *Branchiostoma belcheri*
in Ariake Sea-I,II
(有明海におけるナメクジウオの生物学-I,II)

平成16年9月11日に行われた日本動物学会の
総会において、沿岸域環境科学教育研究センタ
ーの逸見泰久教授が、「Zoological Science Award
(日本動物学会論文賞)」を受賞しました。

この賞は、Zoological Science に年度内に掲載
された論文の中から、特に優れた研究に対して
贈られるもので、今回は平成15年度中に掲載さ
れたものの中から、選ばれたものです。



逸見教授

熊本大学新制大学55周年 法人化元年記念

参加無料

熊本大学いのちのちのフォーラム

10/30
土

●時間／13:30～17:00
●場所／熊本テルサホール(500席)

挨拶

熊本大学長 崎元 達郎氏

記念講演「いのちの危機、心の危機」

～電子メディアと子供の成育～
ノンフィクション作家・評論家 柳田邦男氏

絵本の朗読「エリカ 奇跡のいのち」

いのちパネルディスカッション

テ ー マ : いのちを育む社会
コーディネーター : 小川道雄氏(県立延岡病院長・元副学長)
ディスカッサント : 柳田邦男氏、潮谷義子氏(熊本県知事)、
高橋隆雄氏(熊本文学部)

10/31
日

●時間／17:30～20:30
●場所／熊本大学工学部百周年記念館(200席)

一部

スクランブルコンサート

(尺八、シンセサイザー、民族楽器とのセッション)
熊本の民話、いのちに関する文学作品の朗読

二部

小野 友道副学長、太田 明恵楓園自治会長による挨拶

「いのちの電子メール」太田國男氏
結純子ひとり芝居「地面の底がめけたんです」
—あるハンセン病女性の不屈の生涯—



柳田 邦男

ノンフィクション作家、評論家。
1936年(昭和11年)栃木県鹿沼市生まれ。
1960年東京大学経済学部卒業。NHK記者として14年間報道の
仕事に携わった後、フリーの作家活動に入る。現代人の「いのち
の危機」をテーマに、戦争、災害、事故、公害、病気などのノンフィ
クション作品や評論を書き続けている。最近、終末期医療、医
療事故、脳死問題、心の危機、言葉の危機、少年事件、絵本の重
要性などについて、積極的に執筆と講演をしている。

＜お申し込み方法＞

郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入の上、官製往復ハガキにてお申し込みく
ださい。なお、10月30日は500名、10月31日は200名の先着順とさせていただきます。
定員になりしだい締め切らせていただきます。両日参加ご希望の方は、
その旨ハガキに明記してください。

- お申し込み先 〒860-8555 熊本市黒髪2丁目40番1号 熊本大学生涯学習教育研究センター内
熊本大学いのちのフォーラム実行委員会
- お問い合わせ先 TEL.096-342-3280
- ホームページアドレス <http://www.yuusui.net/inochi>

11/2
火

日本地下水学会 2004年度秋季大会 公開シンポジウム

13:00～17:00

無料

「水質・水量から見た健全なる地下水循環を求めて —熊本地域からの発信—」
コーディネーター: 平田健正(和歌山大学)

■基調講演

健全なる地下水循環の確保は如何にするべきか?

榎根 勇(筑波大学名誉教授)

1. 熊本地域の地下水構造
古閑美津久(国際航業(株))
2. 近年の地下水流出の低減と
白川中流域低地の重要性
市川 勉(九州東海大学)
3. 農業が果たす地下水保全
田上辰也(熊本市役所)
4. 地下水取水企業の取り組み



- ①ソニーセミコンダクタ九州(株)の場合
佐藤富雄(ソニーセミコンダクタ九州(株))
- ②サントリー株式会社 九州熊本工場の場合
福澤健治(九州サントリーテクノプロダクツ(株))
5. 江津湖の硝酸性窒素濃度変化とその対策
古川憲治(熊本大学)
6. 地下水中の硝酸性窒素の低減対策
田中伸広(熊本県庁)

■パネルディスカッション

●会場／グランメッセ熊本
(大・中会議室、コンベンションホール)

熊本大学理学部 嶋田 純

TEL&FAX 096-342-3419

E-mail jshimada@sci.kumamoto-u.ac.jp

お問い合わせ

11/27
土

教育学部附属教育実践総合センター研究シンポジウム

「学校教育における

今日的課題解決の方途」

無料

13:00～17:00

～確かな学力を育てるための重要ポイント～

- 会 場／グランメッセ熊本
- 対 象／一般(保護者、教育関係者、学校教育に関心のある方)

お問い合わせ

熊本大学教育学部附属教育実践総合センター
宮本光雄

TEL 096-325-3282 FAX096-352-3468

12/11
土

夢科学探検

2004

無料

10:00～16:00

科学の不思議と楽しさを
熊本大学で
体験してみませんか?

- 場所／熊本大学理学部・工学部
- 参加対象／小学生から一般まで

お問い合わせ

熊本大学理学部夢科学探検2004

実行委員会

TEL&FAX 096-342-3381(樽井)

E-mail yume@aster.sci.kumamoto-u.ac.jp

<http://aster.sci.kumamoto-u.ac.jp/yume04/index.htm>





お薦めの一冊

『森の文化史』 只木良也著 講談社学術文庫
(初版2004年6月10日)



大迫 靖雄 理事

自然と人間とのかかわりという視点から、私の専門に関連した書物として、只木良也著「森の文化史」(講談社学術文庫)を紹介する。現代はバブル期の工業化社会の行き過ぎの反省から、環境問題が大きくクローズアップされてきている。そのため自然への回帰がいわれて久しい。ここで紹介する「森の文化史」は昭和56年に出版されたものに加筆、修正して本年改めて出版されたものである。筆者は信州大学、名古屋大学教授を歴任した森林生態学を専門とする研究者である。昭和56年から本年までの20年間の間に、筆者はNHK市民大学講座「森と人間の文化史」に出演している。この著もむしろこのタイトルがふさわしいものかもしれない。序論として、森と人のかかわりについて、かつて文明の栄えた地域の森の消失と同時に衰退した歴史を示し、森や木材がいかに人間と関係深かったかを示している。その後、森と人との関係から派生する森の種々の特性を述べ、最近の話題として森林と地球環境の関係に至るまで幅広い内容となっている。筆者は森林生態学者の立場から、森林に関するかなり高度な専門的分野を、学生時代落語に興味をもっていたといわれ話術を、特有の筆力に変えて、分かりやすく、また読みやすく記載している。石油会社からの脱却と自然の有効利用による文化の再構築という時代にマッチした書物として、ぜひ読んでいただきたい一冊である。



市民公開講座 「有明海・八代海を科学する」

主催:熊本大学(地域貢献特別支援事業) 共催:熊本県

日本最大級の干潟をもつ有明海・八代海は世界的にも特異で貴重な海域です。豊富な水産資源をもつ同海域も、近年、早急に解決しなければならない多くの問題が発生しています。熊本大学沿岸域環境科学教育研究センターと熊本県水産研究センターでもこの問題に取り組んでおり、その成果を市民講座として紹介してきました。今年も、その後の研究成果の他に本年着任したセンター教員の研究紹介も加え内容の充実をはかり、下記のとおり市民講座を開催することとなりました。6回の講義では、沿岸域の生物・環境に関する最新の科学研究成果をわかりやすく解説し、干潟沿岸域の環境の保全創造について皆さまと共に考えたいと思います。また、有明海の見学・実習ツアーも予定しています。

多数のみなさまのお申し込みをお待ちしております。

講義		
開催にあたって	講師 内野明徳 (熊本大学沿岸域環境科学教育センター長)	実施日 10月21日(木)
テーマ1 「養殖ノリの未来にむけた遺伝子研究」	講師 滝尾 進 (同センター教授)	実施日 10月21日(木)
テーマ2 「有明・八代海的环境特性と再生・維持方策について」	講師 滝川 清 (同センター教授)	実施日 10月28日(木)
テーマ3 「有明海・八代海の生物」	講師 逸見泰久 (同センター教授)	実施日 11月4日(木)
テーマ4 「有明海にすむヤドカリの生態」	講師 和田 哲 (同センター助教授)	実施日 11月11日(木)
テーマ5 「つくり育て管理する漁業(資源管理型漁業・栽培漁業)の取組みについて」	講師 糸山力生 (熊本県水産研究センター資源研究部長)	実施日 11月18日(木)
テーマ6 「有明海の堆積物の変遷」	講師 秋元和賢 (同センター教授)	実施日 11月24日(木)



申し込み先 熊本大学学術研究協力部研究協力課 井上精二
〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39番1号
TEL.096-342-3143(直通) FAX.096-342-3149
E-mail:s-inoue@jimu.kumamoto-u.ac.jp

- 対象: 一般市民(100名)
- 日時: 左記の期日の午後6時30分~8時00分
- 場所: 熊本県民交流館パレア
熊本市手取本町8番9号テトリア熊本ビル9階第1会議室
- 参加費: 講義、実習とも無料

今年は戦後誕生した新制大学発足55周年、そして国立大学法人化元年の年にあたり、まさに熊本大学にとって第二の開学の年といえよう。本学でも学長をはじめ経営陣は、初めての国立大学経営に挑戦されているが、その目指すべきビジョンやプロセスなどを、学外のみならず学内の教職員や学生にキチンと伝えていくことは大学広報誌として重要な使命であると考えている。

これまで「熊大通信」の初期から編集に関わるなかで、将来の学生、保護者の方々、現役学生、企業、地域社会など多様な読者を念頭に置きつつ、アカデミックな香りと読み応えがある内容で、熊本大学の評価が高まるような広報誌とはどうあるべきか、毎回企画編集会議では悩ましい検討が続いてきた。今年度はフレッシュな編集メンバーが特集や記事にと個性を生かして誌面作りを分担しており、この取り組みが編集として成功してくれると願っている。読者の皆さん、ご意見、ご感想、叱咤激励など、是非本誌への反響をお寄せ下さい。

(編集委員長：上野眞也)

編集委員

文 学 部	水元豊文
教 育 学 部	佐藤毅彦
工 学 部	緒方公一
発生医学 研究センター	糸 和彦
生涯学習教育 研究センター	上野眞也(委員長)
事務局／総務課広報室	
文 責／熊大通信WG	



表紙／板井榮雄
熊本大学五高記念館。正面の扉を開けると木製の手すりが優雅な曲線を描く階段が現れる。

熊本大学公式ホームページ
<http://www.kumamoto-u.ac.jp/univ-j.html>

熊大通信では、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

● 宛先 ●

熊本大学総務部総務課広報室
〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39番1号
TEL: 096-342-3119 FAX: 096-342-3110
sos-koho@jimu.kumamoto-u.ac.jp

新 聞 だ
見 熊 本 大 学



7/22
熊本日日新聞



8/27
熊本日日新聞



7/31
熊本日日新聞



8/13
熊本日日新聞



8/27
熊本日日新聞